



調布市文化協会

調布市小島町 2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>  
[chofu-bunkyo@bj.wakwak.com](mailto:chofu-bunkyo@bj.wakwak.com)

## 調布市文化協会

### 『創立45周年・その歩み』

調布市文化協会会長 高岡 宮子

文化協会の発足は、当時世界中から絶賛の「東京オリンピック」が開催された二年後の昭和41年に、12種・団体で発足しました。

「もはや戦後ではない」の言葉と共に高度経済成長の波に乗って活発な文化活動が展開されあれから45年、今や加盟団体数も発足時の倍・23団体と大所帯の組織となつて、調布市民文化生活的の向上に寄与する目的のもと活動しています。

文化協会45年の歴史は一口には語り尽くせぬものがありますが過去の記念誌を読みながら、この45年の歴史は主に3つの要因を経てここに至ったことに気付きました。

一つ目の要因は、文化協会の「礎」は高レベルの文化的意識を持った先輩諸兄によって築かれました。

文化協会の前身「調布町文化会」が発足したのは、終戦直後の昭和23年・荒廃しきつた社会状況下、まさに食うや食わずの真つ直中・どの様な思いで礎を築いてくれたのでしょうか？

今は無き先輩諸兄のその心意気に感動し感謝あるのみです。

二つ目の要因は、**将来を見据えた組織のあり方と、自主的活動が確立された。**

56年の歴史ある調布市民文化祭は、文化協会が発足する10年前より行われていましたが、当初は行政丸抱えの事業

展開から自主的な運営に向けて事務局体制が確立されたとの記録は、昭和56年30年前の事です。以来事務局体制が整い、市民への文化の出前実技講座、姉妹都市・木鳥平村芸術文化協会との交流など、市民文化祭56年に次ぐ30年、20年と続く自主事業が確立されました。

三つ目は、**行政及び関係機関との連携と信頼関係の確立。**

文化協会45年・ここに至りましたのも、行政および関係機関との信頼関係が確率されているからこそです。市民だけの自主活動では限界があります。活動内容等が行政に理解されて初めて自主的に活動が進められるものと確信し歩んでまいりました。

目でたく45周年を迎えた平成23年・この記念すべき年の三月十一日午後二時四十五分、未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」が発生し多くの人命が失われました。このことは安穏と暮らしてきた私たちに、日々の生活について今一度立ち止まり、考え直すという絶好の機会をこの節目の時に与えられたのではないかと痛感しています。

文化協会45年の歴史を振り返れば、有能な先輩諸兄の英知と、行政および関係機関の皆様とのより良い信頼関係、また文化協会加盟団体の皆様の、市民文化の発展に惜しまぬ努力を重ねる活動が相俟って、今日に至ったものと確信して止まない次第です。

結びに、文化協会がここに至るまでの多くの皆様のご支援に感謝申し上げますと共に、「東日本大震災」被災地の復興を願いつつ文化協会創立45周年記念のご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年 度 事 業 報 告

平成23年

- 4・11 文化協会役員会
- 4・27 第45回定期総会(懇親会)
- 22年度事業会計報告
- 23年度事業計画・予算
- 5・29～30 足利文化協会との研修交流旅行(参加27人)
- 6・23 第1回文化協会理事会
- 6・23 調布市長と語る懇談会
- 7・15 会報47号発行
- 8・6～7 木島平村芸術文化協会との交流(参加29人)
- 8・28 「調布よさこい」への協力  
模擬店出店・役員担当  
民謡舞踊好友会、ハワイアンフラ協会舞踊参加協力。

- 9・12 第2回文化協会理事会
- 11・30 第3回文化協会理事会
- 12・18 調布市文化協会創立45周年「記念式典」「感謝状贈呈」「祝賀会」「感謝状贈呈(24人)」

平成24年

- 1・15 文化協会役員会
  - 1・30 公益財団と役員との懇話会
  - 2・20 文化協会理事会
- なお、平成23年度文化協会主催の実技講座は10団体が実施いたしました。

第56回調布市民文化祭実行委員会報告書

平成23年度

- 4・20～30 文化祭参加団体申込受付
- 5・20 第1回実行委員会  
参加団体確認
- 6・10 開催日程と会場割 他
- 6・10 調布市民文化祭テーマ・予算決定(地域で生かそう・調布の文化)
- 7・9 第3回実行委員会  
開会式・文化祭プラザ内容

調布市文化協会主催「第15回生涯学習講演会」

日時 平成24年3月5日(月) 午後6時より  
会場 調布市文化会館たづくり・8階映像シアター  
題名 調布の街!『そして私の幸福度』  
講師 大槻 哲也 氏

全国社会保険労務士連合会最高顧問  
元調布市教育委員会教育委員長  
大変有意義なお話して幸福とは何なのかを考えさせられました。  
くわしい内容については次号で。

決定(29団体3公民館参加)

- 9・9 第4回実行委員会  
運営費とポスター印刷費  
支給・総合プログラム・「ポスター」各団体所要部数の確認
- 9・13～23 一般市民文化祭参加申込受付(99人)
- 10・7 第5回実行委員会  
総合プログラム配布
- 10・20 第56回文化祭開会式
- 10・20 「開会式」役割分担への協力依頼・実施報告書・写真・プログラムの提出について
- 10・29～11・6 公民館地域文化祭
- 12・9 第6回実行委員会報告書  
参加状況報告、会計報告  
次年度の検討・要望など

「式典・アトラクション(秋風に寄せて)」

市役所前庭・たづくり東側広場にて工芸・囲碁・将棋の実技、実演コーナー

エスペラント・アマチュア無線の展示・発表

フラダンス、民謡舞踊好

友会の野外ライブ



平成二十三年度  
木島平村芸術文化協会との交流  
第二十七回木島平村夏祭り・盆踊りに参加  
調布市文化協会副会長 吉井 千香子

八月六日(土)～七日(日)  
参加者二十九名  
例年通り 木島平観光のバスでパノラマランド・木島平に到着。  
木島平村芸術文化協会と調布市文化協会の参加者との「交流懇親会」が開催された。お互いに一年振りのなつかしさに、話がはずみ、楽しい雰囲気の中での交流会となった。又今年には舞台のある会場を拝借しての交流で、木島平村芸術協会の参加団体にはない「ハワイアンフラ協会」の方々にフラダンスを踊っていただき、感動の中今

迄にない、盛り上がりのある交流が出来たと思っています。  
夕食後は、「第27回夏まつり」への参加。

3月に発生した、東日本大震災・栄村大地震に被災された方々の追悼と、地域の復興を祈願するまつり、ということで、深大寺 張堂完俊住職と共に六人の僧侶の方々による天台宗の法要で開会「般若心経」、被災者の方々に献花と厳粛な中での開会式となりました。  
式典は、木島平村長、調布市長 挨拶、芦澤実行委員長開催宣告で、盆じゃもの、調布音頭、からす踊り、木島平どどんかと九時過ぎまで踊りが続けられました。  
がんばろう日本、震災追悼、復興祈願との思いが、いつも以上に哀感のこもった大きな輪が、ケヤ



キノ森中央グラウンドに幾重にも広がり、終了後大震災の影響で中止となった調布の花火も共に澄んだ木島平の夜空を彩り、感動のひとつを過ぎ終了となりました。  
翌日七日(日)は、木島平を後にして、一茶記念館、戸隠神社・中社を参拝、黒姫高原へ、童話館、童話の森ギャラリーを見学の後無事に帰着の途に着きました。

今年の参加団体は、大会、発表部門21  
 団体と展覧・展示部門9団体として東部・  
 西部・北部の3公民館による地域文化祭  
 (10月29日(土)〜11月6日(日))が各会場で  
 熱心に趣向をこらして実施されました。  
 10月20日の文化祭開会式は出席者六六  
 七名でアトラクションは「秋風に寄せて」

## 第56回 調布市民文化祭 「地域で生かそう 調布の文化」

2011年10月20日(木)〜  
 11月20日(日)  
 (文化祭プラザ  
 10月22日(土)〜23日(日)  
 於調布市役所前庭)  
 開会式アトラクション  
 「秋風に寄せて」

出演 ソプラノ歌手 新藤昌子  
 (大島義彰・曾我部清典)



会調布支部)



写真展 (写真連盟)



絵画展 (美術協会)



会連盟)



大正琴発表会 (大正琴連盟)



市民将棋大会 (将棋連盟)



青少年吹奏楽団)



お茶会 (茶道連盟)



社交ダンスパーティー (社交ダンス連盟)

と題して新藤昌子氏のソプラノと曾我部清典（ピアノ）大島義彰（トランペット）両氏等のすばらしい歌声と演奏に拍手喝采でした。

今年の観覧者数は発表部門一三、四三〇名、展览展示部門一五、七〇六名でした。また10月22日23日調布市役所前庭、たづくり東広場で開催された文化祭プラザは本部テントでのコーヒー販売や実技・実演コーナーでの市民参加。そしてハワイアンフラ協会のフラダンスの直前になって、それまでの大雨がうその様に一気に快晴となり、フラダンスの方々も踊る事が出来ました。

23日は民謡舞踊好会による、踊りと市民の皆様を交えた盆踊りに道行く人も思わず足を止めて見とれていました。

「第56回調布市民文化祭」

調布市文化・コミュニティ  
振興財団事業課 西田祐也

第56回調布市民文化祭は盛大に行われ、文化祭実行委員会、市民の皆様のお協力のおかげで、無事に閉幕しました。

去年は東日本大震災という、



書道展（書道連盟）



大気汚染展（新日本婦人の会）



箏・三絃・尺八による三曲演奏会（三曲協会）



歌謡発表会（歌謡同好会）

未曾有の惨事に、日本全国が震撼しました。今回の震災をとおして、あらためて人と人との「絆」の大切さを強く感じました。

今回のテーマは、「地域で生かそう調布の文化」でした。苦しい時だからこそ、伝統ある調布の文化の力で、より一層地域の絆を深め、皆が支え

合い、温かい社会を形成していかなくてはならないと思っております。

私自身、この文化祭の中で、例年以上に人の温かさを感じる事ができました。調布市民文化祭が、市民の皆様的心と心の架け橋となり続けることを願っております。



文化祭プラザ 本部テント



文化祭プラザ実技コーナー（ハワイアンフラ協会）



吹奏楽演奏会（調布市吹奏楽協会）



平成23年12月18日(日)  
調布市文化会館たづくり・12階大  
会議場に於いて盛大に挙行されま  
した。

文化協会創立四十五周年  
記念式典・感謝状贈呈祝賀会



- |            |       |
|------------|-------|
| アマチュア囲碁連盟  | 丸茂 一  |
| いけばな連盟     | 五島まつ子 |
| 〃          | 富沢敏子  |
| 音楽連盟       | 初貝丈義  |
| 奇術協会       | 大澤 孝  |
| 吟剣詩舞道連盟    | 武田敏良  |
| 〃          | 菅原 昇  |
| 〃          | 神賀明子  |
| 工芸美術協会     | 水越清治  |
| 〃          | 金山秀子  |
| 〃          | 阿部愛子  |
| 茶道連盟       | 風間厚子  |
| 〃          | 吉野みどり |
| 〃          | 宮崎由美子 |
| 三曲協会       | 吉川和博  |
| 将棋連盟       | 加藤桂子  |
| 大正琴連盟      | 根本良平  |
| ハワイアンフラ協会  | 富澤登代子 |
| 美術協会       | 近藤義人  |
| 〃          | 田中眞幸  |
| 〃          | 植村 峻  |
| フラワーデザイン協会 | 山崎奈加子 |
| 民謡舞踊好会     | 両角秀子  |
| 洋舞協会       | 今村昌子  |

感謝状贈呈者の所属団体名と受賞者名



# 実 技 講 座

## 初心者のための詩吟講座

調布市吟剣詩舞道連盟

樋口 尚也

平成二十三年の実技講座として調布市吟剣詩舞道連盟は十月に三回にわたり詩吟講座を実施しました。延べ二十数名の方に参加していただき、本田嶺錦講師の指導により詩吟を初歩から熱心に学んでいただきました。

詩吟というと漢字ばかりで大変難しいものと一般に思われがちですが、講師の解りやすい丁寧な指導の下皆さんすぐに声を出して詩吟に馴染まれた様子でした。

いうまでもなく詩吟は腹の底から声を出して吟ずることにより、健康の維持増進とストレスの発散に寄与すると共に、詩人の思いを自ら理解して情操を高められる効果があります。

今後共この講座を通じて詩吟の普及に努めたいと考えております。

## 百周年を迎える

大正琴のよさを知っていただく

調布市大正琴連盟

市川 俊子

昨年は大正琴誕生百年でした誰もが手にして奏でられる大衆楽器として日本で作られたものです。

この節目の年に多くの方達に馴れ親しんでいただけられたらと、十一月に二日間実技講座を実施いたしました。

11人の方達が参加され、その中には『旅先で聞いた事があり是非始めてみたかった』と話される方、古賀メロデーを楽しみたいとの思いのある方、『以前に少しさわった事があるのでこの機会に楽器を出して見る』と話していた人等々、それぞれ違った思いがおありでしたが、参加された全員が大正琴にふれ、あせらず続けて、文化祭に出演出来る楽しみを残して講座を終える事が出来ました。

## カラオケ実技講座

初級・中級編

調布市歌謡同好会連盟

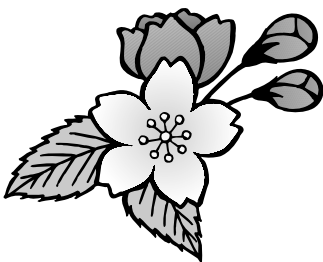
嶋谷 隆治

第十三回実技講座を昨年十二月三日、十日、の二日間を前回同様藤平裕美氏PKK講師で実施致しました。



私達の初期の目標は参加者のレベルアップは勿論であるが歌の大原則である、発声、リズム、表現力を主体として初級、中級を対称としての講座ですから基礎的な音符の読み方、詩の意味の理解をして男性曲一曲、女声曲一曲の二曲を課題曲として実技を執行しました。

縁きずなより歌は唄うな言葉は語れと言われております様に、声を大にして唄うもので無く詩の意味を表現する語り調子や、唄いどころのサビを大事に指導有り、又有名歌手のもの似ねをするのでなく個人の声質や表現力にオリジナリティを発揮出来れば、今回の講座の目標は達成出来たと思えます。



## 実 技 講 座

「たたみのへりを使って

バッグを作る」

調布工芸美術協会

大山 雅子

軽くて丈夫な畳のへりを使ったバッグ作りを三回に渡り、延四十二名の方が参加し、行ないました。幅の狭い畳のへりをはぎ合わせて一枚の布にし、形を作り上げ、裏布金具を付け、手ひもを付けてシヨルダーバッグに仕上げました。

手早い方は、二回目で仕上げ、最終日には、肩にかけて持って来て下さいました。皆出来上がったバッグを肩に、お互いに「いいわね」とにこにこ顔でした。残った時間でパスネット入れも仕上げる事が出来、皆さんとても意欲的でした。

今回はミシンを使つての作業となり、毎回の持ち運びをどうしたものかと、思っていました。文化協会のご好意で預かっていただける事となり、大変助かりました。ありがとうございました。

男性、女性楽しくフラダンス

調布ハワイアンフラ協会

富澤 登代子

昨年十一月27、28日男女年齢問わず楽しくフラダンスさせて頂きました。最初は体操から手の動き、足の動き、曲の振付と少しずつレッスンを進めて行き、二回目は前日の練習をしてから曲にはいり最初のうちはバラバラだったのが、次第にそれが楽しくおもしろくなり、知らない内に全員に笑顔がこぼれ、姿勢も正しく年齢を感じさせない程に踊っているのが印象的でした。皆さんが汗びっしょり、『いい運動よ』の言葉が返つて来たのが嬉しく感じました。

私の教室には男性が少ない事が淋しくこれからも力を入れて男女楽しく踊って会話がこぼれるようなフラダンスにして行きたいと思えます。

調布市文化協会  
東日本大震災

## 義援金配分について

- 1、平成5年より交流  
茨城県ひたちなか市文化協会  
金一〇〇,〇〇〇円
  - 2、平成13年より交流  
福島県いわき市文化協会  
金一〇〇,〇〇〇円
  - 3、調布市(調布市生活文化スポーツ部へ納める)  
金二五八,四五八円
- 以上の通り二十四年一月末迄に送金致しました。ご協力有難うございました。

## 編集後記

今年度の大きな出来事は何と云つても3月11日午後2時45分に発生した、東日本大震災が上げられます。いまだその傷跡は修復されておらず、一日も早い復興をお祈り致します。

12月には調布市文化協会創立45周年記念式典が挙行され、調布市長を始め市議会議長、教育長、都議会議員、市議会議員さらに各団体役員の皆様ご列席のもと、これ迄文化協会に特別な功績が認められた24名に文化協会会長より感謝状と記念品が贈呈されました。受け取られた方々のお顔は、それはそれは永い間文化協会に対しての熱い想いと、一緒に歩んで来た、自信に満ち溢れた美しいものでした。

